

オーバルは計量法校正事業者登録制度 (JCSS) において気体及び液体の区分で登録されています。

登録番号: 0180
事業所の名称: 株式会社オーバル 横浜事業所 認定事業室
登録区分: 流量・流速(詳細は下記の通り)

校正手法の区分の呼称	種類	校正範囲	最高測定能力(k=2)		
気体流量計 (MRA対応)	気体用流量計	臨界ノズル	30kPa 以上 110kPa (abs) 以下	5m³/h 以上 200m³/h 以下	±0.33%
		流量計	95kPa 以上 110kPa (abs) 以下	5m³/h 以上 1000m³/h 以下	±0.29%
液体流量計 (MRA対応)	石油用流量計 (灯油)	30m³/h 以上 6.7kg/s 以上	300m³/h 以下 67kg/s 以下	±0.09%	

校正対象機器 1.気体流量 ①臨界ノズル ②容積流量計 ③渦流量計 ④タービン流量計 ⑤その他、長期安定性が実証される流量計
2.石油流量 ①容積流量計 ②タービン流量計 ③渦流量計 ④コリオリ流量計 ⑤その他、長期安定性が実証される流量計

株式会社オーバル 〒161-8508 東京都新宿区上落合3丁目10番8号
TEL 03-3360-5141, 5151 Fax 03-3365-8601

オーバル

検索

お客様の計量標準と
国家標準をトレーサブルに
弊社JCSS校正サービスの対象

直尺 2mまで
鋼製巻尺・ノギス・マイクロメーター

シンワ測定株式会社
新物産センター/〒959-1276 新潟県燕市小池3481番地
●営業部 TEL:0256-63130(代) FAX:0256-63-8134
http://www.shinwasokutei.co.jp

Sureであること

IA Japan JCSS JIS

当社は認定基準としてJIS Q 17025 (ISO/IEC 17025)を用い、認定スキームをISO/IEC 17011に従って運営されているJCSSの下で認定されています。
JCSSを運営している認定機関(IAJapan)は、アジア太平洋試験所認定協力機構(APLAC)及び国際試験所認定協力機構(ILAC)の相互承認に署名しています。
当社は国際MRA対応JCSS認定事業者です。JCSS 0188は当標準室の認定番号です。

おかげさまで創立30周年
校正は当社にお任せ下さい

【長さ】マイクロメーター
ブロックゲージ (比較測定法による)
【電気(直流・低周波)】直流電圧発生装置
直流電圧測定装置

電子計測器・度量衡の校正
株式会社 宝 栄
栃木県宇都宮市宝木本町1192-27
TEL.028-665-4494 FAX.028-665-4495
キャリアレーションセンター
栃木県宇都宮市石那田町140-3
TEL.028-678-5445 FAX.028-665-5667

http://www.houei.jp E-mail info@houei.jp

BlueSYSTEM

精密装置の測定に

空飛ぶデーター (ブルーシステム)

ワイヤレスで1人で測定らーくら

平面度
真直度
直角度

これ1台でOKです

JIMTOF 2014 西3ホール W3023

http://www.obishi.co.jp E-mail ok@obishi.co.jp

(株)大菱計器製作所

長岡市南陽1-1216-1 Tel.0258-22-1100(代) Fax.0258-22-0014
東京 Tel.03-3293-8881 名古屋 Tel.052-322-4031

マルイテクノ

マルイテクノは、角度計を中心とする各種測定工具の設計・製造・販売を通じて、精密測定分野で産業界に貢献している。角度計の標準器「MP101」をはじめ、液晶角度計「DP 601」一般型角度計「BP 301」、デジタル半径測定器「RC 150D」などの主力製品を持つ。RC 150Dはワーク(加工対象物)の半径を測定して、デジタルで表示する。本尺や副尺の目盛りを確認する作業を軽減できるのが特徴。半径曲面外周に当てること、1台で半径1mm、150mmまでを測定できる。ワークは全周の約17%あれば測定できる。誤差は±0.02mm。従来のステンレス製「RC 150」のデジタル版製品。代理店を通じて、木材や板金の加工業者などに販売している。

有力企業の製品・技術〈順不同〉

ネツシン

ネツシンは白金測温抵抗温度計を手がけて43年。「白金測温抵抗素子」を限りなく点に近づける」という社是の下、世界最小クラスの製品を相次いで市場投入してきた。こうした高度なセンサー技術を基盤に、トレーサビリティ(校正業務へ定点校正・比較校正)業務も手がける。
最新型の極最小型白金抵抗素子「NES OV45」は産業技術総合研究所との共同開発品。感温部の寸法を0.5mm以下、最小部品比で5分の1に小型化した。アンブルを用いたデオキシリボ核酸(DNA)増幅やiPS細胞(人工多能性幹細胞)の培養に用いるサーマルサイクル装置向けなどに用いる。感温部は電気抵抗10Ω、導線部分の抵抗の影響を受けない構造とするなどして、測定温度誤差で±0.1℃以内の高精度判定を可能にした。

大手技研

大手技研は米フルーク・キャリアレーションのハイエンド圧力校正機器、専門総代理店。同社製の重錘型圧力てんびん、油・空圧圧力コントローラ、高精度デジタル圧力計の輸入販売から、メンテナンス、校正サービスまでを一手に行っている。
また大手技研の校正部門は圧力分野の特定1次標準器を持つ第2階層のJCSS登録認定事業者であり、多国籍で相互承認する国際MRAに対応している。校正専用の優れた設備とISO/IEC 17025に基づいた品質・技術管理の下で、メカを問わず、国内外の圧力計測機器の校正を受託できるのが特徴。さらに質量・温度分野のJCSS登録・認定事業者でもあることから、重錘型圧力てんびんに必要な圧力、質量、温度の3分野の校正をワンストップで受託できる。

大菱計器製作所

信頼の測定でモノづくりに貢献する。大菱計器製作所は、機械加工では到達できないレベルを蓄積した匠の技で追求し、測定の基準となる精密定盤、真直や直角の基準器を提供している。同社の「平面度測定システム」は、精密機器で定評のスイス製の検出器を採用したシステム。誤差の要因を極力排除するよう工夫し、ケーブルによる偶然誤差の対策として信号の無線通信、周囲の環境から影響を除くための検出器2台測定を実現した。同システムは平面度測定のグローバルスタンダードとして多くの企業の測定定盤や装置の平面度管理に利用されている。同社の測定定盤は全て、この「平面度測定システム」で測定したデータを添付して精度保証しているためブランド認知度が高い。

宝 栄

宝栄は電子測定器や度量衡などの校正を手がけており、今年創立30周年を迎えた。多国籍で相互承認する国際MRAに対応したJCSS認定事業者として、長にかかわるマイクロメーター・ブロック・ゲージ(比較測定法)により、電気(直流・低周波)にかかわる直流電圧の発生、および測定装置の校正事業を展開している。
宇都宮市内に本社のほか、各種校正事業を行う「宝栄キャリアレーションセンター」を設けている。同センターは電子測定器・度量衡などの校正を行う専用作業室などがあり、東北自動車道・宇都宮インターチェンジから10分ほどアクセスがよい。このほか高電圧発生器などの電子測定器、ノギスといった度量衡の校正事業などを幅広く手がけている。

オーバル

オーバルはJCSSにおいて、気体および液体の区分で登録され、さらに多国籍で相互承認する国際MRA対応としても認定を受けている。
気体流量JCSSにおいては、定積槽を用いた臨界ノズルの校正技術を持っていることから、表示機構を含む何らかの出力を備えている気体流量計であれば、全て校正が対応可能である。石油JCSSでは、揮発油の取引用コリオリ流量計の器差試験にも使用されている。同校正設備の一部の範囲で認証を得ている。液温安定化システムにより校正中の液温変化を小さくすることで、石油JCSSの最高測定能力は±0.09%を実現している。
同社はJCSS認定事業者として流量トレーサビリティを確保し、より良い校正サービスの提供を行っている。

長野計器

2013年12月から長野計器のJCSS校正事業に差圧計の校正が加わった。これにより、JCSS校正範囲は絶対圧力が10kPa以上500kPa以下、ゲージ圧力(負の気体圧力)が30kPa以上10kPa以下、ゲージ圧力(正の気体圧力)が10kPa以上50kPa以下、ゲージ圧力(正の液体圧力)が1kPa以上500kPa以下、また、気体差圧は5kPa以上200kPa以下となった。差圧計の比較校正方法は圧力標準器(PG1、PG2)に絶対圧力用重錘形圧力てんびんを使用。2台の重錘形圧力てんびんは校正品の表示がほぼゼロになるよう、両方重錘形圧力てんびんの発生圧力を釣り合わせる。次にPG1の重錘形圧力てんびんに校正する差圧に応じた分銅および重錘を追加荷重し、校正品の表示値を測定、校正する。

日本品質保証機構

日本品質保証機構(JQA)はマネジメントシステム・製品・環境などに関する認証、試験、検査を実施する第三者機関。全国10拠点で計測器の校正ISO(国際標準化機構)などのマネジメントシステムやJIS(日本工業規格)マークの認証、電気製品や医療機器などの製品試験を提供している。1963年の校正業務開始以来の経験と実績に基づき、校正可能品目と範囲を順次拡大。日本の計量標準供給の翼を担っている。
また幅広い分野でJCSS(計量法校正事業者登録制度)や米国際試験所認定協会(A2LA)に基づく校正ができ、技術力の高い、安心できる校正が特徴だ。工場や事業場で校正を行うサービス(出張校正)もあり、計測器の運搬にかかるリスクの低減に取り組んでいる。

圧力計測のグローバルスタンダード

11月1日 計量記念日

長野計器グループは、計量法に基づく
圧力の国際MRA認定事業者です。

GC15 精密デジタル圧力計

PD66 高精度油圧用重錘型圧力計

長野計器グループは、国際相互承認 MRA/JCSS 認定事業者として、計量・計測の根幹である圧力の標準を、幅広い業界のお客様へ提供しています。今回新たに、JCSS 校正事業に気体差圧 5Pa 以上 200kPa 以下が加わり、「環境・保安・安全・省エネ」など信頼性が必要とされる差圧計測にも対応してまいります。

長野計器株式会社 品質保証部(JCSS0080)と株式会社ナガノ計装 計測器校正サービスセンター(JCSS0143)は、認定基準としてISO/IEC17025 (JIS Q 17025)を用い、認定スキームをISO/IEC 17011に従って運営されているJCSSの下で認定されています。JCSSを運営している認定機関(IAJapan)は、アジア太平洋試験所認定協力機構(APLAC)及び国際試験所認定協力機構(ILAC)の相互承認に署名しています。

長野計器

ナガノ計装

本社/〒143-8544 東京都大田区東馬込1-30-4 TEL 03-3776-5311 FAX 03-3776-5320
http://www.naganokei.co.jp/ お問合せはフリーコール/0120-10-8790

本社/東京営業所 〒143-0022 東京都大田区東馬込1-30-4(長野計器ビル) TEL 03-5718-3281 FAX 03-5718-0238 http://www.nagano-keiso.co.jp

好評! 日刊工業新聞社の本

はかり
ハンドブック 第2版

一般社団法人日本計量機器工業連合会編 ●B5判 ●定価3,024円(税込)

今日からモノ知りシリーズ トコトンやさしい 計量の本

今井秀孝監修 ●A5判 ●定価1,512円(税込)

今日からモノ知りシリーズ トコトンやさしい 単位の本

山川正光著 ●A5判 ●定価1,512円(税込)

1998年初版を発行した「はかりハンドブック」の改訂版。新しいはかりの追加や、計量法および関連規格の変更を反映すると同時に、はかりのアプリケーション例、限界使用例などを追加し、はかりのユーザー企業にとってより使いやすい内容に全面改訂を行った。

私たちの身の回りでは多くの計量が行われ、その値が規制や工程・品質管理に用いられている。その際「ものさし」の精度や取り扱い方法がそろっていないとモノづくりの標準化は不可能である。本書では世界標準となったこの「計量トレーサビリティ」の考え方を盛り込んだ。計量に関する入門書、メタボリックシンドロームの血液の化学分析など最先端の計量のトピックも扱っている。

さまざまな事象や現象を表すために不可欠な「単位」。私たちも身近な場面でも多くの単位に接して生活している。本書では、古今東西で使われてきた計測法と単位を、図やイラストを多用してわかりやすく紹介するとともに、その語源や成り立ちについて掘り下げる。

◆お求めは書店または弊社出版局販売・管理部まで

日刊工業新聞社 出版局販売・管理部

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 TEL03(5644)7410
http://pub.nikkan.co.jp/ FAX03(5644)7400